

望まれる学長像について

令和5年6月20日
国立大学法人弘前大学
学長選考・監察会議

次期弘前大学学長には、本学の持続的な発展へ向けた明確な将来構想を有するとともに、それを実現するため、大学の個性や能力を最大限発揮した戦略的な運営を期待する。あわせて、「特色ある世界水準の研究力を基盤とした社会変革・地域創生を先導するイノベーション創出と人材育成」という基本方針を踏まえた大学改革の継承及び一層の推進を図っていくことが求められる。

以上を踏まえ、学長候補者には、人格が高潔で、学識に優れ、かつ大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者で、以下に掲げる資質・能力を兼ね備えた者とする。

1. 学長のリーダーシップによる全学的な合意形成を重視し、弘前大学の課題解決と目標達成を果たしていくことができる者であること。その際、教育研究活動を一層推進するための明確なビジョンと具体的な方策を有し、それを実現することができる者であること。
2. 地域活性化の中核的拠点としての機能の充実を図り、地域の自治体や企業、市民活動団体等と連携を強化していくため、地域社会との信頼関係を築き、幅広い理解と協力を得ることができる者であること。
3. 大学の国際化を加速し、多様性のある大学づくりを推進するため、国際的な視野をもって大学運営を行うことができる者であること。
4. 社会の現状と未来を見据えて大学としてのオピニオンを国内外へ発信することができる者であること。
5. 社会の変化や未来を見据えた組織運営の改革と機能強化を推進する明確なビジョンを示し、それを実行することができる者であること。